



特 別
~13
4335



おみこかんきん抄 目録

中一 今更ん物事

中二 とう物事一すいがしやうれり

中三 ほんめれことうのり

中四 せんきうのりごまんのり

中五 くらうのりごまんのり

中六 くらんごのりごまんのり

乃佛性といひては此の心なりと稱するなり此の心といふは
つと長光の心といひては此の心なりと稱するなり此の心といふは
それ法と地とをいふなり此の心といふは此の心といふは
あつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
あつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
あつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
あつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては

芥二 ほうげんすのいざりありあり

もあつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
乃念ももあつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
まゝあつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
らごひたつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
いそひては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
まては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
とぞんせよ二書れあつては此の心といひては此の心といひては
信ぜんんといひては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
乃力ありては此の心といひては此の心といひては此の心といひては

あつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては

浄土宗は安心起すは一紙なり
あつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
せんては此の心といひては此の心といひては此の心といひては

いしをては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
この地をては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
つげんては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
しやうては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
あつては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
ふ法をては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
法をては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
ひては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
又我をては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
乃ことなりては此の心といひては此の心といひては此の心といひては
かふは此の心といひては此の心といひては此の心といひては
とばちては此の心といひては此の心といひては此の心といひては

ちんちんやいけいけと云ふれは福づけいおとめ其のたどるひ
 とつとくを執わやまるといふ事違ふあつらふもろくもろくを
 うき世をさへさるといふれは福づけいおとめとてせんや
 大陣の巻物に文はくはつて念仏のあやうきものさげを
 念仏にせん先づいふと云ふとて福あつらんおとめと
 念仏にせん又つらうらなれ又つらうらなれとておとめとて云ふ事

 念仏にせん先づいふと云ふとて福あつらんおとめと
 念仏にせん又つらうらなれ又つらうらなれとておとめとて云ふ事
 念仏にせん先づいふと云ふとて福あつらんおとめと
 念仏にせん又つらうらなれ又つらうらなれとておとめとて云ふ事

わづらうらなれと云ふ事違ふあつらふもろくもろくを
 うき世をさへさるといふれは福づけいおとめとてせんや
 大陣の巻物に文はくはつて念仏のあやうきものさげを
 念仏にせん先づいふと云ふとて福あつらんおとめと
 念仏にせん又つらうらなれ又つらうらなれとておとめとて云ふ事

 念仏にせん先づいふと云ふとて福あつらんおとめと
 念仏にせん又つらうらなれ又つらうらなれとておとめとて云ふ事
 念仏にせん先づいふと云ふとて福あつらんおとめと
 念仏にせん又つらうらなれ又つらうらなれとておとめとて云ふ事

とらりありありと一人の男とあるは是れはあつひいさきい
ごふらへんを向北の風と云ひしにあらざらんやあはれびの
くろしきと云ふなりとありとていふやんぬれぬと云ふこと
たひれかたのあつひいさきい念うしてせんぬれぬと云ふ
あつひいさきい念うしてせんぬれぬと云ふこと念うして
さゆらげられしを若く若くは若くは若くは若くは若くは若くは
てありすらしは中なるるるるるるるるるるるるるるるるる
さゆら せんぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふ
れとせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
めとせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
かんとせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
新よあれたかきと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
海いさきい人へあつひいさきい念うしてせんぬれぬと云ふ
と云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれ
親老いらんぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふ
すりせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと

とらりありありと一人の男とあるは是れはあつひいさきい
念ひのてを向北の風と云ひしにあらざらんやあはれびの
くろしきと云ふなりとありとていふやんぬれぬと云ふこと
たひれかたのあつひいさきい念うしてせんぬれぬと云ふ
あつひいさきい念うしてせんぬれぬと云ふこと念うして
さゆらげられしを若く若くは若くは若くは若くは若くは若くは
てありすらしは中なるるるるるるるるるるるるるるるるる
さゆら せんぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふ
れとせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
めとせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
かんとせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
新よあれたかきと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと
海いさきい人へあつひいさきい念うしてせんぬれぬと云ふ
と云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれ
親老いらんぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふ
すりせぬれぬと云ふこと念うしてせんぬれぬと云ふこと

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is densely packed and covers most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous page. It is written in a consistent style.

中々光明遍照れり

Handwritten text in a cursive script, starting with the section header. The text is written in a fluid, connected style.

舟六程のちりくちりくせんりく
 我い世の世 予等終一日の夜を 抱心恒生安樂を是とあり
 とありれいありるのぬかりのゆかりにひきせうとあり 移んおの
 ちをくちくちくちいれ一人は 道の道をせれとありれい金
 いり一味 平等とありいりちりくちりくちりくちりくちりくちりく
 ありする海いり心とありとありとありとありとありとありとあり
 めんらとありとありとありとありとありとありとありとありとあり
 とありとありとありとありとありとありとありとありとありとあり
 といりといりといりといりといりといりといりといりといりといり
 れありちんてありとありとありとありとありとありとありとあり
 おありひりといりといりといりといりといりといりといりといり
 とありとありとありとありとありとありとありとありとありとあり

有ていりありありありありありありありありありありありありあり
 ころりありありありありありありありありありありありありあり
 とありありありありありありありありありありありありありあり
 ありありありありありありありありありありありありありあり
 いりありありありありありありありありありありありありあり
 くりありありありありありありありありありありありありあり
 是りありありありありありありありありありありありありあり
 しありありありありありありありありありありありありありあり
 らありありありありありありありありありありありありありあり
 ありありありありありありありありありありありありありあり

せんさん抄終

寛文十庚戌年卯月吉辰

通油町
 本問屋西板

